

日本アフリカ科学技術大臣会合について

平成 20 年 10 月 23 日
内 閣 府

10 月 8 日、東京の三田会議所において、日本及び32のアフリカ諸国の科学技術担当大臣、AU 委員会と NEPAD 事務局の代表が参加する「日本アフリカ科学技術大臣会合」を開催し、日本とアフリカの科学技術担当大臣が一堂に会して科学技術協力のあり方について議論を行った。

同会合では、日本及びアフリカ双方から、科学技術政策の概要について紹介されるとともに、今後の日・アフリカ間の科学技術協力のあり方について、意見が交わされた。

日本及びアフリカ諸国の科学技術大臣は、本会合での議論を通して、成長の加速等アフリカ諸国の抱える諸問題を解決していく上で、科学技術は欠かせないツールであるとともに、科学技術外交の強化を進める日本にとっても、日本が有する優れた科学技術の成果を活用して地球規模の課題を解決していく上で、日本とアフリカの間の科学技術協力を、一層拡大していく必要があるという認識を共有した。

それを踏まえ、日本及びアフリカ諸国との間での科学技術協力を拡大するため、以下の2つの取組みを行うことで合意した。

1. 相互理解促進のための政策対話メカニズムの創設
 - 日本・アフリカ科学技術大臣会合を継続的に開催する。
 - 大臣会合の下に、各国の科学技術政策当局者等から成るテクニカル・ワーキング・グループを設置する。
 - 日本は、関係政府機関及び研究機関が参加するアフリカ科学技術調査ミッション(仮称)を、2009年上半期にアフリカ諸国へ派遣する。
 - AU 委員会/NEPAD 事務局との協力の強化を図る。

2. 日本・アフリカ間の科学技術協力の拡大
 - 現在、関係各省において進められている多様な科学技術協力を、引き続き積極的に進めていく。
 - 科学技術振興機構(JST)及び国際協力事業団(JICA)が実施する地球規模課題対応国際科学技術協力事業を積極的に活用する。

以上

日本アフリカ科学技術大臣会合出席者(平成20年10月8日(水))

| | 国名 | 氏名 | 役職 |
|----|----------|--------------------|----------------------------|
| 1 | アンゴラ | ロペス・トニードナシメント・マランジ | 駐日アンゴラ共和国大使館 公使参事官 |
| 2 | ボツワナ | オスカー・モツワハエ | 駐日ボツワナ共和国大使館 特命全権大使 |
| 3 | ブルキナファソ | マキシム・ソメ | 科学研究・高等教育省大臣補佐 技術教育・職業訓練担当 |
| 4 | カメルーン | マデレーヌ・チュエント | 科学技術革新大臣 |
| 5 | コンゴ | エロ・マムプヤ・マントソン | 科学研究・革新技術大臣 |
| 6 | コートジボアール | ロジェ・ニャンゴ | 駐日コートジボワール大使館 一等参事官 |
| 7 | ジブチ | アホメド・アライタ・アリ | 駐日ジブチ共和国大使館 特命全権大使 |
| 8 | コンゴ民主共和国 | ラファエル・ムエンダ | 駐日コンゴ民主共和国大使館 全権公使 |
| 9 | エジプト | ハニー・M. ヒラール | 高等教育兼科学研究大臣 |
| 10 | 赤道ギニア | ジョゼ・コスメ・オケンベ・ンボミヨ | 高等教育長官 |
| 11 | エリトリア | セメレ・ルツソ | 教育大臣 |
| 12 | エチオピア | ドゥラネ・アブディラシッド | 駐日エチオピア連邦民主共和国大使館 特命全権大使 |
| 13 | ガボン | ジャン・クリスチャン・オバム | 駐日ガボン共和国大使館 特命全権大使 |
| 14 | ガーナ | エリザベス・アクア・オヘネ | 教育・科学・スポーツ担当国務大臣 |
| 15 | ギニア | モハメッド・ラミーヌ・トゥーレ | 駐日ギニア共和国大使館 特命全権大使 |
| 16 | 日本 | 野田 聖子 増原 義剛 | 科学技術政策担当大臣 内閣府副大臣 |
| 17 | ケニア | サリー・チェブネックティチ・コスゲイ | 高等教育・科学技術大臣 |
| 18 | レソト | モテツォワ・メツィン | 通信・科学・技術大臣 |
| 19 | リビア | アブダルガデル・アルバグダーディ | 教育担当全国人民委員会書記 |
| 20 | マダガスカル | ジミー・ラミアンジソン | 駐日マダガスカル共和国大使館 特命全権大使 |
| 21 | マラウイ | ルーズベルト・ラストン・ゴンドウエ | 駐日マラウイ共和国大使館 特命全権大使 |
| 22 | マリ | マリナム・フランティエ・ディアロ | 通信・先端技術大臣 |
| 23 | モロッコ | ラティファ・エル・アビダ | 国家教育・高等教育・幹部養成・科学研究省 国務長官 |
| 24 | モザンビーク | ヴェナンシオ・S・マッシングー | 科学技術大臣 |
| 25 | ナイジェリア | B.O. ソロモン | 科学技術局長 |
| 26 | ルワンダ | エミール・ルワマシラボ | 駐日ルワンダ共和国大使館 特命全権大使 |
| 27 | 南アフリカ | モンブディ・マンゲナ | 科学技術大臣 |
| 28 | スーダン | イブラヒーム・アフマド・オマル | 科学技術大臣 |
| 29 | タンザニア | ピーター・ムソツラ | 通信科学技術大臣 |
| 30 | チュニジア | ラズハール・ブウニ | 高等教育・学術研究・テクノロジー大臣 |
| 31 | ウガンダ | ガブリエル・オピオ | 教育・スポーツ大臣 |
| 32 | ザンビア | ゴッドフリー・シマシク・シマシク | 駐日ザンビア共和国大使館 特命全権大使 |
| 33 | ジンバブエ | スチュアート・ハロルド・コンババツハ | 駐日ジンバブエ共和国大使館 特命全権大使 |
| 1 | AU事務局 | エザン・ジャンピエール・オンベウン | AU委員会 人的資源・科学・技術委員 |
| 2 | NEPAD事務局 | アグリ・アンバリ | NEPAD科学技術事務局 局長 |